



やまだ いっこう

平成29年11月26日発行 Vol.12

山田一功県政レポート

発行者 山梨県議会議員 山田一功 甲斐市宇津谷1008 Tel:055-226-8111
http://www.yamada-ikko.info/ E-mail:ikkoyama@green.ocn.ne.jp

平成29年もあとわずかです、共に住みやすい山梨を創造していきましょう。

平成29年9月28日(木)、定例県議会にて、一般質問をさせていただきました内容を中心に報告させていただきます。質問の様子がTV録画でご覧いただけます。(上記ホームページへ)

山田一功

平成29年度9月議会議決項目等

●知事提出議案

- 山梨県登山の安全の確保に関する条例制定の件
- 山梨県個人情報保護条例及び山梨県情報公開条例中改正の件
- 山梨県手数料条例中改正の件
- 山梨県公営企業の設置等に関する条例中改正の件
- 平成29年度山梨県一般会計補正予算
- 平成29年度山梨県恩賜県有財産特別会計補正予算
- 平成29年度山梨県流域下水道事業特別会計補正予算
- 平成29年度山梨県一般会計補正予算 他

●議員提出案件

- やまなし子ども・子育て支援条例制定の件
- 山梨県がん対策推進条例中改正の件
- 私学助成の充実強化等に関する意見書
- 法務局等の増員に関する意見書
- 「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の特別措置の継続を求める意見書
- 北朝鮮による弾道ミサイル発射及び核実験に抗議する意見書



9月定例会にて質問中



議場上から

議場前より

資料を手に質問



9月28日議会傍聴いただいた皆様

9月定例県議会(9/21~10/5)一般質問要旨

Q シカ肉の認証制度と認知度向上に向けた取り組みについて

- 本県独自のシカ肉の衛生ガイドラインについて
 - A. 捕獲から解体処理、保管に至るまで、衛生的に処理を行うための作業手順や必要な設備器具を定めております。
- やまなしジビエ認証制度に取り組んだ背景について
 - A. 安全で安心な品質を担保する仕組みが必要との判断に至りシカ肉の認証制度を創設することといたしました。
- やまなしジビエ認証制度の内容について
 - A. 現行のガイドラインに加え、新たな認証基準の導入とこれを審査する第三者機関の設置により、更なる安全性を担保する内容となっております。
- やまなしジビエの情報発信について
 - A. 認証マークを作成し、明年1月には、ジビエとワインの相性の良さを発信するセミナーを開催し、認証したシカ肉の安全・安心と美味しさを広く情報発信して参ります。

Q 甲斐市双葉地域における農業用水(楯無堰)の確保について

- 農業用水の渇水時における対応について
 - A. 市町村や土地改良区などの関係機関に対し、農業用水路の漏水確認はもとより、河川からの過剰な取水の制限や地域内のため池に貯留されている農業用水を有効に活用することや、農家に対し、時間や順番を決めて平等に水が行き渡るよう取水することや、排水路の水を再利用することなどの協力依頼を行いました。
- 農業用水の確保に向けたため池整備について
 - A. 早急な対策が必要であるため池については、安定した農業用水の確保に向け、調整を行い、順次、整備を実施することとしており、農業用水の供給拠点としての機能を最大限発揮できるよう、計画的かつ効果的な整備を進めて参ります。
- 楯無堰の老朽化対策について
 - A. 改修工事後、約50年が経過していることから、主要施設の老朽化も著しい状況であります。このため、本年度から施設の機能診断を実施し、劣化状況を把握するとともに、施設の長寿命化と今後の維持管理費の低減に向け、整備計画を策定して、早期に老朽化対策を実施し、安定した農業用水の確保に努めて参ります。

Q JICAの中小企業海外展開支援と県との連携について

- JICA山梨デスク海外展開相談室開設後の県の対応について
 - A. 本年5月、JICA横浜国際センター所長が来県し、海外ビジネスに関心の高い県内企業35社に対して情報提供を行いました。また、8月には、県内金融機関や商工団体等にJICA事業や相談室の開設について周知を図ったところであります。
- JICAの中小企業海外展開支援事業の内容と県内企業の活用状況について
 - A. 連携の可能性や情報収集等を行う基礎調査、製品・技術のマッチングを行う案件化調査、実証活動等を行う普及・実証事業の3つの事業を実施しており、過去3年間で6件の事業で採択を受け、海外展開に向けた取り組みを行っています。
- JICA事業とジェットロ事業のすみわけと県の連携について
 - A. それぞれの特徴を踏まえ、連携を図りながら、製品や技術、ニーズに応じて適確な情報提供と橋渡しを行い、意欲ある県内中小企業の海外展開を後押しして参ります。
- JICAの中小企業海外展開支援事業を活用した誘客の促進について
 - A. 海外におけるプロモーション活動などに際しては、実施国で事業展開している県内企業との連携を密接に図ることにより、将来、有望な市場となる開発途上国からの誘客の促進につながるよう努めて参ります。

Q 林業の成長産業化に向けた林内路網の整備について

- 林業の成長産業化に向けた林内路網の整備への取り組み状況について
 - A. 高性能林業機械の使用を前提とした林道や林業専用道、森林作業道を効果的に組み合わせ、効率的な路網整備を進めるため、山梨県林内路網整備計画を策定し、県、市町村、森林組合等により路網整備に取り組んでおります。
- 林内路網整備計画の整備目標と進捗状況について
 - A. 平成27年度から10年間の目標は、林道、林業専用道を143.3km、森林作業道140km、合計283km余りとしています。進捗状況については、平成28年度までの2年間で、林道、林業専用道21.4km、森林作業道60.1km、合計81.5kmを整備し、目標とした約17%を大きく上回る約29%となっております。
- 林内路網整備の取り組みの加速化に向けた課題について
 - A. 所有者合意のうえ、施業が必要な森林を面的に取りまとめ、一体的かつ効率的に森林施業が行えるよう、集約化していくことが課題であります。
- 効率的な森林施業を可能とする集約化の実現に向けた取り組みについて
 - A. 森林所有者情報を一元的に管理・提供する林地台帳の整備を進めており、台帳システム整備への助成や、台帳データの提供などの支援を行っています。また、森林組合等が所有者に対し、施業の方針や事業の収支等を具体的に提示して、林業経営に対する関心が高まるように働きかけているところです。

※山田一功オフィシャルHPから質問の様子がTV録画でご覧いただけます。

